全国障害者問題研究会北海道支部
第 43 回支部学習会開催要項

◇日時：　**2022 年 9 月 11 日(日) 10:00～15:00**
◇会場：　**オンライン(Zoom)による実施**（事前申し込み制）
◇参加費：　会員 500 円、非会員 1000 円、障害当事者と学生 500 円
※**郵便振替または Peatix(ピーティックス)で事前にお支払いください**。

◇タイムテーブル：
10:00～11:40　記念講演
13:00～15:00　分科会
　分科会 1　障害のある子どもの教育と不登校
　分科会 2　本人のねがいに寄り添う実践とは何か
15:10～16:10　オプション企画　学生・若手の集い

■10：00～11：40　開会・記念講演

演題　**出 会 い は タ カ ラ モ ノ**

― 子どもから教えられたことばかり ―

講師　佐 藤 比 呂 二 さん（都留文科大学特任教授）

私の教員人生は、「子どもから教えられたことばかり」。裏を返せば失敗の連続です。子どもの気持ちがわからずに、ならなくていいパニックに何度してしまったことか。子どもの思いを受け止めきれず、今なお悔やみきれないこともあります。でも、やがて子どもの姿から大事なことを教えられる…その繰り返しが今も続いています。子どもたちが変わっていく姿に励まされ、私自身も成長させてもらいました。そして、生きていく上での価値観さえ変えてもらったと感じています。
そんな一つ一つの「出会いがタカラモノ」。（著書に添付された「メッセージ」）

◇主催：全国障害者問題研究会北海道支部
◇後援：北海道、北海道教育委員会、北海道社会福祉協議会

■13：00～15：00　分科会

分科会１　「障害のある子どもの教育と不登校」

特別支援学級・特別支援学校に在籍する子どもたちの「不登校、不登校傾向」が顕著になっています。分科会では、①特別支援学級、②特別支援学校、③当事者に対する調査の経過を報告し、不登校の背景にについて参加者の皆さんと考えます。

■話題提供　市橋博子さん(特別支援学校教諭)、小野川文子さん(北海道教育大学釧路校)

■コーディネーター　小渕隆司さん(北海道教育大学釧路校)

分科会２　「本人のねがいに寄り添う実践とは何か」

支援計画は「本人がどうしたいか？」を中心に検討されますが、表現されているものが「本当のねがい」であるかどうかは一見的にはわからないことがありません。また、障害が重い人の場合はそれを支える側の事情に重きが置かれることも少なくありません。支援する中での悩みや困難さについて、実践レポートをもとに参加者皆さんと考えます。

■話題提供　藤田明宏さん(特別支援学校教諭)、安藤路恵さん(全障研旭川サークル)

■共同研究者　落合裕昭さん(作業療法士・健康体操アドバイザー)

■コーディネーター　加藤法子さん(社会福祉法人楡の会)

■15：10～16：10　【オプション企画】

【オプション企画】　学生・若手の集い

“若手”と呼ばれる人とこれから若手と呼ばれ学生が、普段取り組んでいることについて報告し合い、生じた疑問点について共有していきます。若手はあなた一人ではありません。若手間のつながりを創り、新境地の開拓につなげていきたいと考えています。

■コーディネーター　瀧澤颯大さん(全障研道支部事務局)、長嶋翔太さん(特別支援学校教諭)

参加申込　**インターネットから Peatix(ピーティックス)をご利用ください**

http://ptix.at/gDMf8p　　または

上記 URL(または QR コード)にアクセス後、ホームページの指示に従ってください。申し込み完了後、Zoom の URL 等がメールで届きます。

【問い合わせ】　全障研北海道支部　支部学習会事務局

メール　zensyoken54@gmail.com　　FAX　0154-44-3387

※Peatix での参加申込が難しい場合、メール・FAX でお申込ください。